

## 平成 27・28 年度 核医学部会委員紹介

### 部会長

對間 博之

茨城県立医療大学



平成 27 年度より「核医学分科会」は「核医学部会」と名称も新たになり、これを機に核医学部会の部会長を拝命いたしました。核医学部会（分科会）は 1980 年に設立されて以来、これまで多くの会員の皆様のご協力と、7 名の分科会長はじめ歴代の委員のご尽力により、本邦の核医学技術の発展に寄与してきました。その歴史と先達の思いを顧みると、私たち現委員も身の引き締まる思いであります。

私はこれまでも核医学部会の委員として参加してきましたが、当初より一貫して、同じ抱負のもと活動をしてまいりました。それは、『おもしろい核医学』を実践することにあります。私が診療放射線技師として育ってきた大阪の地では、物の価値を「おもしろいか否か」で判断をします。私は、ローテーション勤務で携わっておられる若い技師の方には、核医学の「おもしろさ」を感じながら業務をしていただきたいと思っております。また、これから病院実習や臨床現場に出ていく学生の方には「おもしろい核医学」の一端でも良いので、イメージできるようになってほしいと思っております。

また、現在、居を構えるつくばの地では、様々な領域の最新技術が融合し、日々、新しい成果や価値が生み出されていきます。今後も、医学はもちろん理工学や薬学など様々な職種の方と連携しながら、これまで培ってきたエビデンスと更なる工夫を融合し、日本発の新しい核医学技術を生み出していければとも考えております。

核医学部会では、そのような希望を会員の皆さんに抱いていただけるよう、これからも微力ながら頑張っていこうと考えておりますので、会員の皆様には引き続き、核医学部会の活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 飯森 隆志

千葉大学医学部附属病院

今年度より核医学部会委員を拝命致しました。前任の安藤委員の業務を引き継ぎ、主に部会ホームページ・広報を担当させていただきます。浅学非才の身ではございますが、会員の皆様方のご要望、ご期待に沿うように對間部会長の下、精一杯務めさせていただきます。

核医学に関する最新情報は基より、若手会員の獲得と育成、さらに多角的・横断的研究を奨励し、特色ある核医学部会を目指し、委員一丸となって企画立案してきたいと考えております。

最後に会員の皆様方のご指導とご協力の程、宜しくお願い致します。



## 市川 肇

豊橋市民病院

今年度より核医学部会委員を拝命いたしました。主に企画戦略、総務、出版関連の担当をいたします。右も左も分からずご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、よろしくお願い致します。

私の勤務する施設では各技師が複数のモダリティを担当しており、私自身も現在、核医学以外に一般撮影、放射線治療を担当しております。核医学部会は私と同じようにローテーションで担当されている方からエキスパートの方まで幅広い層の会員で構成されております。微力ではありますが、可能な限り多くの会員の皆さんに満足していただける企画の立案に努めてまいります。

皆様のお役に立てる核医学部会となりますよう今後一層のご協力を賜れば幸いです。



## 小野口 昌久

金沢大学医薬保健研究域

保健学系量子診療技術学分野

2015年4月に對間部会長より委員を拝命致しました。新・部会長のもとで気持ちを新たにし、何をすべきか熟慮して会員の皆様に微力ながら貢献できるよう努力する所存でおります。

「核医学」は、技術学を初め、医学・薬学、工学等の複合体で成り立っている分野ですが、協同体として他学会との連携を強め推進すべき部分と、本学会の環境を利した横断的な研究・教育を推進すべき部分があると思っています。双方の視点から、より魅力のある内容を企画して行きたいと思っております。

今後とも、会員皆様のご指導、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



## 近藤 正司

株式会社 日立メディコ

2期目の核医学部会委員を引き続き拝命致しました。1期目の2年間では、何もできず、ようやく全体の様子がかかめてきたところです。機器国際担当として、引き続き文献データベースの管理運営を進めてまいります。新たな参考となる文献を発掘し、皆様にご利用いただけるようにデータベースの拡充を図ってまいります。

一方で、JIRA(日本画像医療システム工業会)の委員として、日本放射線技術学会の皆様とのパイプ役となり、メーカーサイドの情報を提供する機会を作っていけたらと考えています。

委員として微力ではありますが、核医学の発展に寄与できるよう活動していきますので、今後ともよろしく願いいたします。



## 長木 昭男



## 倉敷中央病院

平成 25 年度に河村分科会長から核医学分科会委員を拝命し、主に広報とホームページを担当していました。今年度から核医学分科会も核医学部会と名称が変更となり、對間核医学部会長のもとで総務と学術を担当する事になりました。また、放射線技術学会では、編集委員も担当していますので核医学部会の会員の皆様には論文査読等でもお世話になるかと思えます。

さて、放射線技術学会は国際化に向けて大きく舵を切っています。春の総会学術大会は平成 28 年から **Cypos** や発表スライドが英語化となります。世界へ向けた情報発信は重要ですが、日々の核医学に関する臨床研究の検証はさらに重要と考えます。核医学部会は、核医学画像セミナーや核医学技術研修会を開催して座学だけでなく実験や実習による実践的な企画で研究の一助となる活動を行っていますので、ぜひ皆様の積極的な参加を期待しています。

今後は、核医学部会だけでなく他の部会と横断的なコラボレーションや放射線技術学会の教育委員会の企画へ参加することにより核医学検査の面白さをより多くの診療放射線技師の皆さんに知っていただきたいと思えます。委員として微力ではありますが、会員の皆様の役に立つような核医学部会の運営に取り組みせて頂きたいと思えますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

## 西村 圭弘

### 国立循環器病研究センター

平成 23 年度より部会委員を務めさせていただき、今期で 3 期目となります。会員の皆様、核医学に従事される方々にお役にたてるような部会活動を計画していきたいと考えています。

今年度は核医学部会誌の編集、第 20 回核医学技術研修会を担当させていただきます。今回の核医学技術研修会は **SPECT/CT** についての講義、演習そして実験を行い、**SPECT/CT** の理解を深めていただこうと考え、企画させていただきました。多くの方に参加していただきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 花岡 宏平

近畿大学医学部附属病院

今年度より核医学部会委員を拝命致しました。日々の診療業務を行うこと、課題を設定しデータを解析し論文にまとめること、いずれにおいても根拠と経験が重要であることは言うまでもありません。

核医学部会ではシラバスに基づき、核医学技術に関する原理・応用・技術を中心に、今後も多くの学術企画を予定して参ります。核医学部会学術担当として、皆様との情報の共有、交換の場を提供していきたいと考えております。日々の診療・研究の一助となれば幸甚です。

会員の皆様方におかれましてはご支援とご協力を賜りたく、よろしくお願い致します。



## 三輪 建太

九州大学大学院医学研究院

保健学部門医用量子線科学分野

今年度より核医学部会委員を拝命致しました。私は核医学経験 8 年目と知識・経験の浅い若輩者ではありますが、このような大役を仰せつかりまして、責任の重大さに身の引き締まる思いです。診療や研究を取り組む上で重要なことは、論語にもある「知好楽」の精神を持つことであると考えます。私は新人の頃、核医学技術研修会（核医学分科会主催）に毎年参加していました。そこで核医学の知識を習得

するとともに、全国の第一線で活躍されている方々との多くの出会いに恵まれました。これにより学会・勉強会での景色が変わり、核医学に魅せられ、診療や研究が楽しくなりました。今後、部会員の皆様方が核医学の「知好楽」を体現できるような企画を立案します。特に、私が核医学分科会の諸先輩方に育てて頂いたように、若手会員の研究支援に努めて参ります。微力ながら、核医学の発展のために尽くす所存ですので、よろしくお願い致します。



## 山木 範泰

日本メジフィジックス株式会社

平成 27・28 年度の核医学部会委員を拝命いたしました山木範泰と申します。平成 23 年度より部会委員を務めさせていただき、今回で 3 期目となります。より一層、会員の皆様、そして核医学に従事される方々のお役にたてるよう活動していきたいと思えます。

核医学は、ガンマカメラはもとより、対象疾患、各種製剤、解析ソフトウェアなど多岐にわたる知識・技術が要求されます。「疑問」が「興味」に変わるまでには少々時間が掛かるモダリティかもしれません。核医学部会では学会活動や様々なセミナーを通して「興味が湧く核医学」にすべく活動をしていきたいと考えています。微力ではありますが、核医学の発展に少しでも寄与できるよう頑張ります。よろしく願いいたします。

